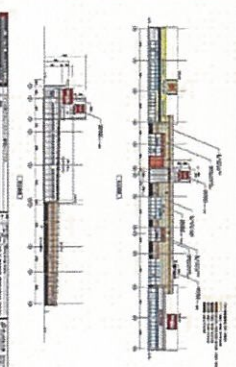


# CASBEE® - 建築 (新築)

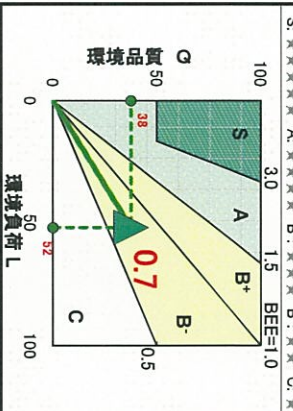
## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 運用使用説明書 2016年度版, CASBEE 5.0 運用使用説明書 2016年度版, CASBEE BD\_NC\_2016v2.1

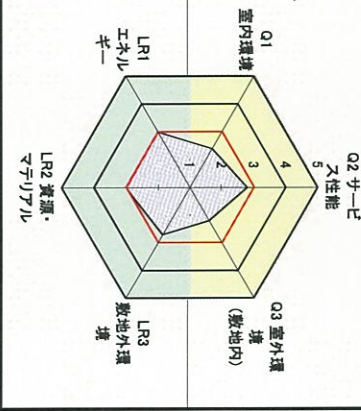
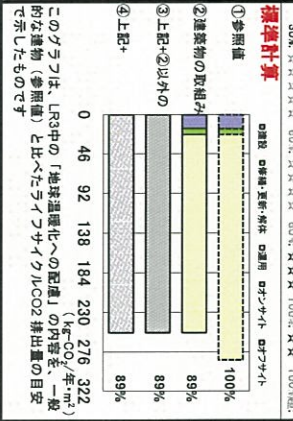
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ベルク寄居SC	階数	地上11F
建設地	埼玉県大里郡寄居町大字寄居字	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	900 人
地域区分		年間使用時間	7,000 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	
竣工年	2018年3月	評価の実施日	2017年5月31日
敷地面積	16,650 m <sup>2</sup>	作成者	INA新建築研究所
建築面積	4,790 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,403 m <sup>2</sup>	確認者	
2-1 建築物の環境効率(BEE)ラック&チャート		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 温暖化影響チャート	
		2-3 大項目の評価(リーダチャート)	



BEE=0.7



30%: ☆☆☆☆☆ A: ☆☆☆☆☆ B+: ☆☆☆☆☆ B-: ☆☆☆☆☆ C: ☆☆☆☆☆



### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q1 室内環境		Q2 サービエ性能		Q3 室外環境 (敷地内)	
Q1のスコア= 2.4		Q2のスコア= 2.8		Q3のスコア= 2.2	
1	3.0	1	2.9	1	1.0
2	3.0	2	2.9	2	3.0
3	3.0	3	2.7	3	2.5
4	3.0	4	2.7	4	2.5
5	3.0	5	2.7	5	2.5

LR1 環境負荷低減性		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
LR1のスコア= 3.0		LR2のスコア= 3.0		LR3のスコア= 2.7	
1	4.0	1	3.0	1	3.5
2	3.0	2	3.1	2	2.5
3	3.0	3	2.7	3	2.1
4	3.0	4	2.7	4	2.1
5	3.0	5	2.7	5	2.1

### 3 設計上の配慮事項

報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能面で利用者が分かりやすく便利な計画とした。</li> <li>将来改修を想定し耐力壁を設けていない。</li> <li>オール電化にし汚染物質発生を抑制した。</li> <li>省エネの為に個別に照明や空調を調節できる。</li> </ul>	その他	0		
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙室を設けそこ以外は禁煙とした。</li> <li>ホムム放散材料を種別便わない。</li> <li>個別に空調の切替えも行えるようにした。</li> </ul>	Q2 サービエ性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>イートインコーナーを設けた。</li> <li>明快な動線と広がりのある部屋とした。</li> <li>清潔に保つため維持管理に配慮した。</li> </ul>	Q3 敷地外環境 (敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の高さを抑さえ、前面に平面駐車場を配置することで、周囲に対して圧迫感を軽減。</li> </ul>
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>南西面はガラス開口を少なくした。</li> <li>北面は庇によって直射日光を軽減。</li> <li>LED照明、節水型便器を採用。</li> </ul>	LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>外構にリサイクル材を採用。</li> <li>解体時に分別が容易に可能な工法を採用。</li> </ul>	LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>オール電化で化学汚染物質発生を抑制。</li> <li>分別回収BOXによる計画的有害廃棄物回収。</li> <li>適切な駐車駐輪場で周囲の交通負荷抑制。</li> </ul>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築物環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命・省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS  
ビル/寄居SC

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価でエネルギー CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目								2.5
C 建築物の環境品質								2.4
Q1 室内環境								3.0
1 音環境				3.0	0.15	3.0	-	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	-	
1		開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-	
2		昇降遮音性能		3.0	-	3.0	-	
3		昇床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4		昇床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境				1.3	0.35	-	-	1.3
2.1 室温制御				1.6	0.50	-	-	
1		室温		1.0	0.50	3.0	-	
2		外皮性能		1.0	0.17	3.0	-	
3		ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式				1.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 屋光利用				3.0	0.50	-	-	
1		屋光率		3.0	-	3.0	-	
2		方位別開口		3.0	-	3.0	-	
3		屋光利用設備		3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策				3.0	-	3.0	-	
1		屋光制御		3.0	-	3.0	-	
3.3 照度				3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御				3.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境				3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-	
1		化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	
1		換気量		3.0	0.50	3.0	-	
2		自然換気性能		3.0	-	3.0	-	
3		取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-	
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	
1		CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-	
2		喫煙の制御		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8
1 機能性				2.9	0.40	-	-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1		広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2		高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3		バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30	-	-	
1		広さ感・景観		5.0	0.33	3.0	-	
2		リノベーション		2.0	0.33	-	-	
3		内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1		維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2		維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2		免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30	-	-	
1		躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-	
1		空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2		給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3		電気設備		3.0	0.20	-	-	
4		機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5		通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>	<b>3.1 空間のゆとり</b>		3.8 3.0	0.30 0.30	-	-	-	2.7
	1	陸高のゆとり						
	2	空間の形状・自由度	5.0 2.0	0.40 0.30	-	3.0 3.0	-	-
	<b>3.2 荷重のゆとり</b>		2.0	0.30	-	-	-	-
	<b>3.3 設備の更新性</b>		2.6	0.40	-	-	-	-
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	-	-
	2	給排水管の更新性	1.0	0.20	-	-	-	-
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	-	-
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	-	-
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	-	-
	6	ハウジングスペースの確保	3.0	0.20	-	-	-	-
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>							
<b>1 生物環境の保全と創出</b>								
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>								
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>								
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>								
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>								
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>								
<b>LR1 エネルギー</b>								
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>								
<b>2 自然エネルギー利用</b>								
<b>3 設備システムの高効率化</b>								
<b>4 効率的運用</b>								
集合住宅以外の評価								
4.1 モニタリング								
4.2 運用管理体制								
集合住宅の評価								
4.1 モニタリング								
4.2 運用管理体制								
<b>LR2 資源・エネルギー</b>								
<b>1 水資源保護</b>								
<b>1.1 節水</b>								
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>								
1 雨水利用システム導入の有無								
2 雑排水等利用システム導入の有無								
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>								
<b>2.1 材料使用量の削減</b>								
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>								
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>								
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>								
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>								
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>								
柱梁と外壁材が分別容易								
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>								
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>								
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>								
1 消火剤								
2 発泡剤(断熱材等)								
3 冷媒								
<b>LR3 敷地外環境</b>								
<b>1 地球温暖化への配慮</b>								
<b>2 地球環境への配慮</b>								
<b>2.1 大気汚染防止</b>								
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>								
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>								
1 雨水排水負荷低減								
2 汚水処理負荷抑制								
3 交通負荷抑制								
4 廃棄物処理負荷抑制								
<b>3 周辺環境への配慮</b>								
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>								
1 騒音								
2 振動								
3 悪臭								
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>								
1 風害の抑制								
2 砂塵の抑制								
3 日照阻害の抑制								
<b>3.3 光害の抑制</b>								
1 屋外照明及び屋内照明のうち、に漏れる光への対策								
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策								

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称

ベルク寄居SC

BEE

0.7

BEEランク

★★

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア

3.4

+

1.3

=

4.7



重点項目の各スコアの合計点

がんばろう  
6.0未満



良い  
6.0以上



非常によい  
6.8以上



すばらしい  
8.0以上



## 3 重点項目についての環境配慮概要

### (1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.4

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.4

<配慮した内容を記述>

ライフサイクルCO2排出値

### (2) 緑の保全・創出

スコア平均 1.3

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)

1. 生物環境の保全と創出

スコア 1.0

Q3 室外環境(敷地内)

3. 2 敷地内温熱環境の向上

スコア 2.0

LR3 敷地外環境

2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア 1.0

<配慮した内容を記述>

・外構、建築物の緑化

: 入力欄